

1. 調査目的等

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

2. 学校ごとの指標

- ・平成27年以降、毎年全教科区分で3ポイント以上のアップを目指し、3年間で全国(県)平均を上回る。

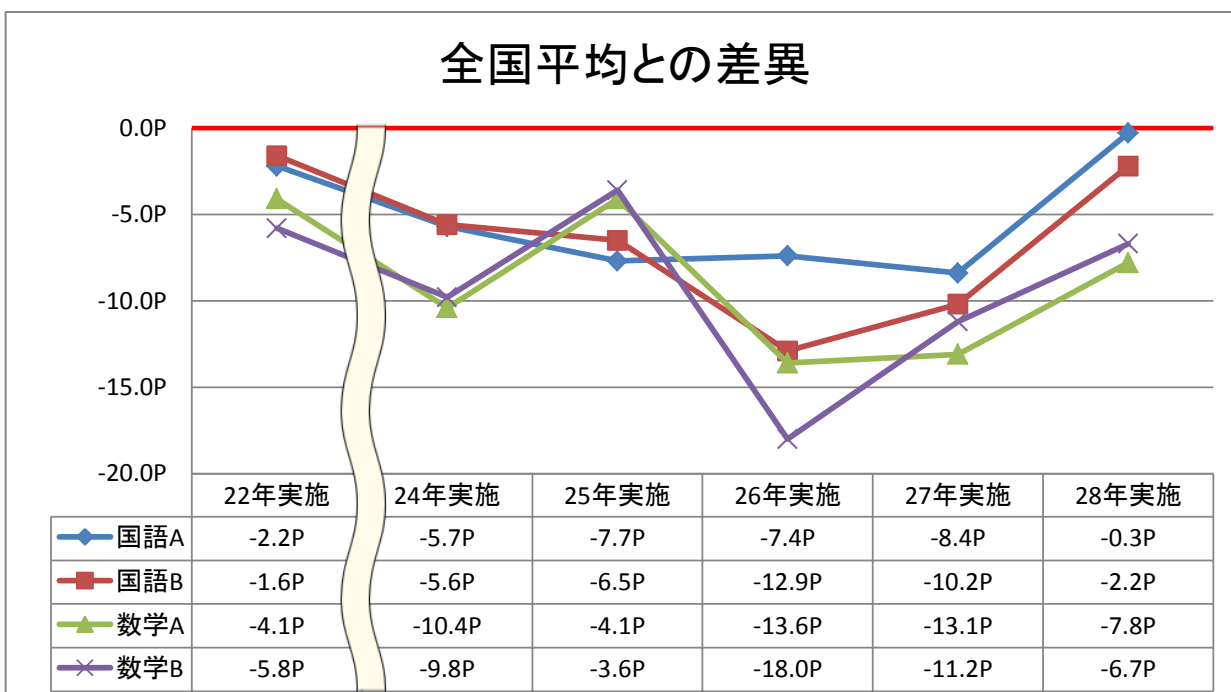
3. 指標にむけての取組

- ・全教員による共通理解を基にした学習指導体制の構築と基本的な生活習慣・学習習慣の定着を図る。
- ・ふくおか学力アップ推進事業に係る非常勤講師・課題対応非常勤講師等を活用し、少人数分割授業・習熟度に応じた個別指導を実施し、基礎的基本的な知識・技能の習得を図る。
- ・定期考査前の補充学習・日常の放課後補充指導・学習ボランティアを活用した補習学習を実施する。

4. 調査結果

本年度の結果 (平均正答率に対して)

教科名	国語A	国語B	数学A	数学B
本校(A)	75.3	64.3	54.4	37.4
嘉麻市(B)	69.8	58.8	51.7	35.0
(A) - (B)	5.5	5.5	2.7	2.4
福岡県(C)	74.8	65.8	60.3	42.4
(A) - (C)	0.5	-1.5	-5.9	-5.0
全国(D)	75.6	66.5	62.2	44.1
(A) - (D)	-0.3	-2.2	-7.8	-6.7



5. 各学校における分析

【国語】語句、読み取り等の基礎的な学力は定着してきたが、筆者の意図を考える問題や、図や絵の効果について考える問題、情報をカードにまとめるといった今日的で多様な問題に対して課題がある。

【数学】学習したばかりの問題では正答率が高いが、学習後時間が経った単元や特定の単元においてしか学習しない内容に定着が見られない。長文の問題で立式できなかつたり、図形問題の無回答が多い。

6. 各学校における今後の取組

【国語】基礎・基本的な事項を定着させるため、小テストを定期的実施するとともに、授業内容を反映した宿題・週末課題を設定する。多様な問題に慣れるよう授業や補充学習で指導を行う。

【数学】基礎・基本の定着のため、小テスト・単元テストをこまめに実施する。既習事項の復習をする機会を3学期に設けて、再度定着を図る。全学調の過去問題や県教材集を週末課題として活用する。

7. 嘉麻市教育委員会としての今後の取組

- ◆ 嘉麻市学力向上推進プランに設定した「書く活動」を核とした授業づくりを推進する。そのために、以下の事項について支援する。
 - ・中学校教科教育研究会を年間4回開催し、授業公開及び授業改善に関する協議を行う。
 - ・個に応じた指導、特に個のつまづきの把握と速やかな対応を可能にするための指導方法の工夫改善を実施する。
- ◆ 嘉麻市学力向上プランに設定した「学力補充」を推進する。そのために、以下の事項について支援する。
 - ・全職員による補充の時間を充実させるための教材の選定や指導方法について指導助言する。
 - ・学習サポーターを配置した「嘉麻市土曜未来塾」を年間40日程度開塾することで、基礎基本の定着の強化と家庭学習の習慣化を図る。
 - ・長期休業中及び放課後等における補充学習、個に応じた学習を支援する。